

講義名	卒業研究
講義コード	44112
担当教員	北村 裕美
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
備考	

ゼミ
北村裕美ゼミナール
学部
人間社会学部
学科
人間健康学科
演習名
健康・レクリエーション

概要説明
<p>当ゼミでは、レクリエーション活動を実践すること、健康行動を起こすこと、健康リテラシーを高めることをミッションとしています。</p> <p>研究演習 では、レクリエーション活動を通じて、体ほくし、心ほくし、仲間ほくしなどを体感します。また、イベントを企画し、メンバーの交流を深めます。</p> <p>研究演習 では、健康、レクリエーション、運動・スポーツなどから各自が題材を選び、抄読会を行います。健康情報を収集し、その内容について考察します。</p> <p>卒業研究では、健康科学やスポーツ科学に関する課題をもとに、介入研究や調査研究を実施し、卒業論文としてまとめます。</p>

学位
博士 (Ph.D)

教員よりの要望
<p>健康、レクリエーション、運動、スポーツに関心があり、これらをテーマとした卒業研究を行いたい方と一緒に学びたいと考えています。</p> <p>礼儀正しく、何事にも誠実で素直に、前向きに、積極的に、協力的に取り組んでください。</p> <p>みなさんが企画する様々なイベントを通して、仲間と一緒に突ったり、悩んだりしながら、一緒に学びましょう。</p>

教員英字氏名
Hiromi Kitamura
研究室
5405
最終学歴
川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究所健康体育学専攻
主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>健康行動に関する研究 メタボリックシンドロームに対する運動の予防効果に関する研究 レクリエーション活動に関する研究</p>
主な卒業論文のタイトル
<p><2015年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃の運動経験が現在の身体活動状況におよぼす影響 食事の摂り方の違いが満腹感におよぼす影響 体幹トレーニングがバランス感覚におよぼす影響 <p><2016年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 本学サッカー部における競技レベルと体力の関係 アルバイトが大学生活と学習態度に及ぼす影響 大学生における筋肉トレーニング知識と現在の運動状況との関連 本学学生におけるスポーツドリンクの利用実態と嗜好に関する研究 スナックスポーツ実施状況に関する研究 プロ野球の人気回復や野球離れを阻止する方策の提案 <p><2018年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 本学学生における健康飲料の利用とカフェイン認知度の現状 アライメント異常（O脚X脚）がスポーツ傷害に及ぼす影響 本学サッカー選手におけるケガとコンディショニング実施の関係
趣味・特技
<p>テニス 食べくらべ</p>
所属
人間社会学部
所属学会
<p>日本体力医学会 日本肥満学会</p>
専門分野
<p>健康科学 体力医学 レクリエーション</p>
選考方法
<p>研究演習 では、面談による選考を行います。</p> <p>研究演習 では、研究演習（北村裕美ゼミナール）の単位を取得した者を優先します。上記単位を取得していない者が履修を希望する場合は、面談による選考を行います。</p> <p>卒業研究の履修は、原則研究演習（北村裕美ゼミナール）の単位を取得した者に限ります。</p>
担当科目
レクリエーション指導演習、レクリエーション実践演習、野外教育活動演習、地域ボランティア演習A・B、エンターテイメント演習、研究演習 ・ ・ ・、卒業研究、教養基礎（健康生活支援）
備考
評価方法
取組状況や課題提出状況などを総合的に評価します。